

富山県

事業所管：富山県農林水産部農村振興課
地域事務局：魚津市農林水産課

● 子育て世代に向けた、地域ぐるみでの果物の商品・サービス化

桃・梨・ぶどう・りんごの産地である果樹の郷うおづにおいて、規格外品を有効活用した商品や収穫加工体験のサービスを地域ぐるみで提供し、子育て世代が果物を楽しむ・親しむ機会を増やし、持続的な果樹産業の発展を図る。

LFP パートナー数

30社・団体
(2023.1 現在)



様々な方法でりんごを楽しむ「うおづりんごめぐり」。

- ・生産者直売所の見学
- ・美味しいりんごの見分け方を教わり収穫（写真）
- ・収穫したりんごでドライフルーツの加工
- ・りんごを使ったカフェメニューの試食



新たなビジネスの価値

- 県内の子育て世代が、果樹の郷うおづを気軽に訪れて交流ができる場として、モニター体験（うおづりんごめぐり）を実施。果物を様々な方法で楽しむ一体的なプログラムを提供。遠方の子育て世代向けにオンラインでも収穫体験を実施。
- キズ等による規格外品を活用したドライフルーツやドレッシング等を開発。モニター体験ではサービスの一環として活用・提供。また、学校給食ではドライを活用した献立開発につなげ、地域内循環の確立と持続的な果樹産業の支援を図る。

プラットフォームの体制

- 魚津市果樹振興会と魚津市・富山県が連携してプラットフォームを運営。事業の進展に合わせて段階的に事業者を誘致。

農業者、菓子工業、飲食業、ホテル旅館関連団体、子育てメディア、学校給食センター、教育機関、金融機関、県研究機関、ケーブルテレビ等が参画。

ビジネス創出のプロセス

- 子育てママとの座談会により「親しむ」「楽しむ」の両面から商品や体験の企画を検討。
- 「りんごめぐり」ではマップ・ルールブックや園地での紙芝居・目印・スタンプラリー等を作成。小さな子供がいる家庭でも親と子が安全に、かつ楽しく参加できる工夫を行った。

新しい取組・仕組みづくり

- 生産者の庭先で主に廃棄されていた規格外品の果物を J A が集荷し、製菓店・加工事業者・飲食店・調理製菓専門学校が商品を開発する仕組みを構築した。
- 地元ケーブルテレビの協力により、果樹園に Wi-Fi 環境をととのえ、Discord を活用したオンラインによる収穫体験を実現した。



子育てママとの座談会を実施。商品・サービスの検討段階からニーズを把握し、試作した商品の試食・体験と評価を行った。